








ID:

様 入院診療計画書 病名/症状(

) 婦人科悪性腫瘍腹腔鏡手術を受けられる方へ

	入院日・手術前日	手術日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6～7日目	術後8日(退院)
検査	採血・除毛	手術後は翌朝まで酸素吸入	必要に応じて、創部の診察 【術後1日目と6日目に採血を予定。前日にお知らせします】					退院前の診察	退院
処置	手術に必要な物品の確認	手術後お腹に管があります 背中には鎮痛剤のチューブがはいています	お腹の傷は毎日チェック お腹の管は排液が少なくなったら主治医の判断で除去 鎮痛剤のチューブをぬぎます						
薬注射	手術前に点滴をします(この点滴は術後数日まで続きます。経過により日数は変わります。) 昼頃、下剤の内服 眼前に下剤の内服 状況に応じ薬剤師が説明	術後から術後2日まで血栓予防の皮下注射を1日2回行います							
食事	21時より絶飲食 特別な栄養管理の必要性 (有・無) (どちらかに○)	絶飲食 	術後は排ガス確認後、流動食から開始します						
清潔	シャワー又は入浴 		清拭 点滴やお腹の管が入っている間は清拭					お腹の管がとれ 防水テープになれば シャワー開始 	
活動	病院内	手術後はベッド上安静 術後は尿管が入ってます	ベッド上で横向きや 座る練習 午後体調がよければ 歩行練習	棟内歩行 トイレ～病棟内まで (体調に応じて)	病院内 (体調に応じて)		病院内		
休息									
排泄								2日目または6日目に尿管を抜きます	
リハビリ			「総合実施計画書」を作成し、リハビリを開始します 術後1日より理学療法士がお部屋に訪問しリハビリが開始します 状態をみながらベッドサイド→病棟内→3階リハビリ室とすすみます						
総合的な機能評価	65歳以上、又は特定疾病を有する40歳から65歳未満の方は総合的な機能評価を行います								
看護計画	担当看護師が看護の計画についてご説明いたします								
説明	オリエンテーション① 病棟案内や日課 オリエンテーション② 手術に必要な物品・注意事項など 手術当日はHCU病棟へ転棟することがあります 入院後に説明 手術室看護師の訪問	手術後主治医より家族の方へ 手術の説明があります (手術中、家族の方は家族控室 で待機していただきます)	退院までに主治医から手術の内容や経過について説明					看護師から 退院後の生活について説明	
その他	診断書の必要な方は、診断書窓口へ依頼してください	手術後も数日間出血することがありますので、ナプキンをご用意ください	火曜日の朝、婦人科医師の総合回診があります						

この予定表は、患者さんの状態に応じて変わることがあります。  
何かご質問があれば看護師にお尋ねください。

主治医 \_\_\_\_\_ 年 月 日  
看護師 \_\_\_\_\_ 年 月 日

管理栄養士 \_\_\_\_\_  
セラピスト \_\_\_\_\_

患者署名 \_\_\_\_\_ 年 月 日  
代諾者署名 \_\_\_\_\_ (続柄) 年 月 日

薬剤師 \_\_\_\_\_

済生会福岡総合病院 婦人科 病棟

2022年 6月